

提案書評価基準

1 評価事項

表 1

評価項目		評価の着目点	配点	評価	評価点
第一次 評価	業務実績等 (15点)	本業務と同種・類似業務の実績	5		
		配置予定者における業務実績・経験等	10		
	提案内容 (65点)	(課題1) 実施方針について	15		
		(課題2) 業務遂行上の課題とその解決方法について	20		
		(課題3) 本業務における重要ポイントについて	15		
		業務内容の理解度	10		
	取組意欲	5			
第二次 評価	ヒアリング (30点)	業務の理解度、取組意欲、コミュニケーション力・指導力等	30		
評点の合計 (110点満点)					

2 評価方法

(1) 各評価項目について、次のように評価を行う。

ア 業務実績等は、A、C、Eの3段階評価を行う。

イ 提案内容は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(2) 評価点について、次のように配点を行う。

ア 3段階評価の項目は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、C = 3 / 5、E = 1 / 5 とする）を乗じて算出する。

イ 5段階評価の項目は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5 とする）を乗じて算出する。

例えば、表1において配点15点の項目の場合は、以下のようになる。

評価がAであれば評価点は $15 \times 5 / 5 = 15$ 点

評価がBであれば評価点は $15 \times 4 / 5 = 12$ 点

評価がCであれば評価点は $15 \times 3 / 5 = 9$ 点

評価がDであれば評価点は $15 \times 2 / 5 = 6$ 点

評価がEであれば評価点は $15 \times 1 / 5 = 3$ 点

(3) 各評価項目の評価の視点は表2のとおりとする。

表 2

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務実績等	企業における本業務と同種・類似業務の実績	同種業務の実績が3件以上ある。		3件以上の実績がある。		実績が2件以下である。
	配置予定者における業務実績・経験等	統括責任者を含め、十分な経験等を有したものが複数配置されている。		十分な経験等を有したものが配置されている。		十分な経験等を有したものが配置されていない。
提案内容	(課題1) 実施方針について 本業務を確実かつ円滑に実施するための実施方針（マネジメントの方針、作業フロー・工程計画、実施体制、実施場所、調査対象等）	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	(課題2) 業務遂行上の課題とその解決方法について 本業務における特有の課題や懸念事項、留意すべき事項を挙げ、その具体的な解決手法や対策、検討業務の進め方、アプローチ	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	(課題3) 本業務における重要ポイントについて 本業務において特に重要と考えるポイントとその具体的な対応方法	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	業務内容の理解度	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	取組意欲	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない